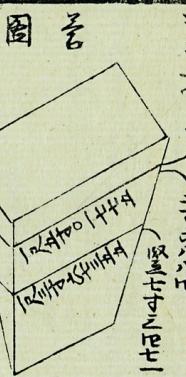
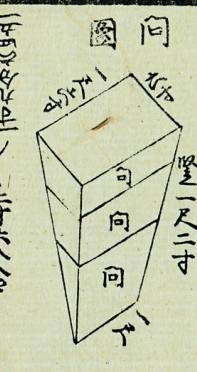


今擇取立場をとす厚さす  
齒を又取て一尺二寸から見許  
段等分小うち切合とす

此うち小割根源厚一丈  
歯切高一中  
中段を取れ右



中  
小段三等

左等厚

右等厚

中  
小段三等

左等厚

右等厚

中  
小段三等

左等厚

右等厚

中  
小段三等

左等厚

右等厚



右等厚  
左等厚  
中  
小段三等

求て身も立ぬして一分を片  
百六十八片之先小椎法之と  
余五百四片也列小堅一人  
ニすと再自因して得千七百  
二十八片是と右等厚五百  
四片參じて右等列三箇一人  
六すの内盡り一人と減りと  
十六あつ是小堅二尺二寸を余  
して得四百九十九片は是  
かく失と除得四百十六片  
是れ再定之又別盡きと小  
定法一個半立業して得まし  
スすと小堅二尺二寸を業  
得二百八十九片と盡と結

す片立業と得ましと業と結  
て引持くべすと盡と結  
法をと片立と取て右等列三箇一人  
六すの内盡り一人と減りと  
十六あつ是小堅二尺二寸を余  
して得四百九十九片は是  
かく失と除得四百十六片  
是れ再定之又別盡きと小  
定法一個半立業して得まし  
スすと小堅二尺二寸を業  
得二百八十九片と盡と結

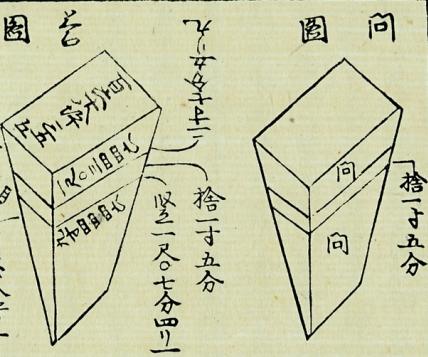
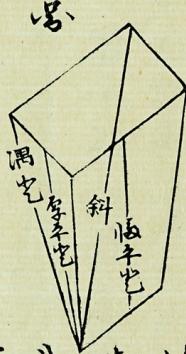
六す小除得二三丈人乃等級之  
彼再寔之用三小除得盡之  
方と堅七す三分やう毛一束  
也又再寔と倍四千九二许と  
右の等級少く用三小除  
得商そ天の三うぬ毛由ラ  
内をくす三分やう毛一束  
止余或す三分八八四中  
堅てアシ

今捲取之幅一尺三寸厚六  
寸畫三寸堅一尺五寸是色高  
圓三寸小三け切口一寸三分捲  
て半金一寸三分一小吉尺  
枚と

畫得三脚と二脚別板を入すと  
す坪と幅と高と畫と堅と求る  
法と坪からとくに極幅とを倍少して  
是小畫とすと是小高とすと是小板  
是とつてかと六脚する坪と別  
法と坪教示六と倍別小脚と一倍ア  
畫とくと(是小堅とすと教する  
是とがとをたとめる坪と別高)  
今捲取之厚四寸幅一尺或す畫とす  
三寸六寸厚の腹半毛と幅腹半毛  
す

腹偶毛と斜尺と幅と高と合

厚半毛 一尺六寸三分七毛八毛  
幅半毛 一尺六寸三分二毛七毛  
偶毛 一尺六寸三分〇毛  
斜尺 一尺六寸三分七毛八毛  
法と幅毛と合



御三脚と三す小画の本  
きす立分加一厚すと案又  
堅去くとすと案得三千二百  
捨立坪づれ案之別一板と案

又取と毛とすと鱼合式百五十丈と  
かる二七の赤板合式百六捨立すと案

の差九寸小をさへすとままで  
吸込人五寸余八百十坪爲  
法を除得二個又別  
小堅を人すと再自因して  
得三千三百七十五坪一色水を  
き個半と差得假五十。  
十二坪立分又別小をも個  
まと並山内又元一個去て  
より余半個と吸込人立す小  
素得七寸五分毛小爲捨  
きす五分どくも九寸と別小  
捨きす五分自因して素分  
五寸と並山内九寸と差得二  
十坪。二分立分と並山内  
半。六十二坪立分、内不減より余

又云惣法除厚乃半也と初也  
又云厚を半式すと無合口あと別列又  
堅を尺立すと無合式百人拾半あと  
成二口とお殺合式百人拾半と餘をと  
毎半法除惣法半也と初也  
又云惣法除厚乃半也と初也  
と二口ニ割無合九寸と別列又厚を  
半式すうけ合四半別小又堅を尺  
ひすうけ合式百五十人半とける二口  
合式百人拾九寸と餘をと毎半法除  
偶也と初也

又云惣法と素と無合式りニ割九寸と  
と無合八拾半ちと別列又厚を半  
式すと無合四半と別列又堅を尺  
人半すと無合式百人拾半半と別二口  
合二百四十拾半ちと餘をと毎半法  
降と斜人と初也

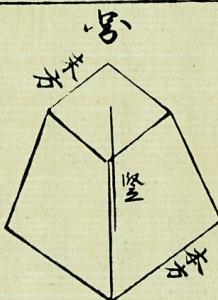
テウカと並山内半と並山内

今方基至也

未方走尺式す

本方式尺七寸

堅尺五尺



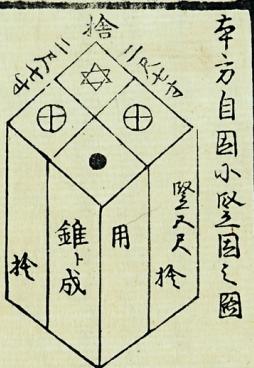
五千。四十二坪二分五毫と  
折半して二千五百二十坪  
を分立人半もどり再交一  
折半個小堅と差得半す  
是小捨きす五分と差得半  
半分立分別捨自因之素  
二分立分三回二回して二步三分  
すう五毛と餘を半人十步三分  
すうと加(後小半毛と餘  
テウカと並山内半と並山内  
別小捨きす五分と並山内  
二回して得三寸二分立分  
毛小をも半人半分と加)  
然小九寸七分立分とろニ  
尽と並山内半法除得高也

增開疑指

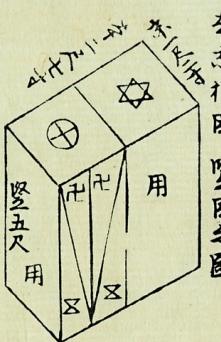
方之堅者人所分也

方部別解曰か書くす法  
を用ひ候  
未方と人或すと半方或人七  
寸小相乘して三百六十九也又  
未方自乘して百四十四也又  
半方自乘して七百十九也又  
二口合千百九十七也是之故也  
五尺と半得二十五万九千八百五十  
坪一尺と三分の一て一万九千九百  
五十坪ハ方部と坪也

法云東方七尺八寸と一倍三尺八寸と  
と餘是二年方或人七寸と加五尺とすと  
是二年方と無六百拾或人七寸と餘是二年  
或人七寸と七尺三五尺四寸四寸と餘是二年  
東方七尺八寸と加五尺とすと餘是二年  
方或人七寸千七百八拾或人七寸拾三尺三  
百九拾四寸と餘是四寸七寸と拾三尺九  
百拾八寸と餘是四寸七寸と拾三尺九  
寸拾三尺七寸と餘是四寸七寸と東方  
七尺八寸と加五尺とすと餘是二年

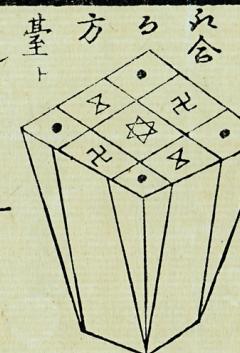
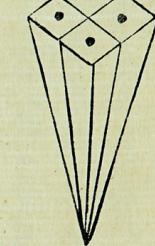
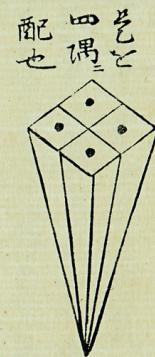


卷之三



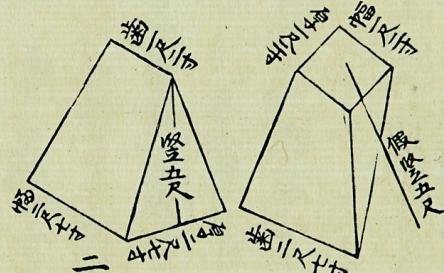
左の如くして二分に於て三分に用  
也。是乞ひ三回にて准とす  
④此用を以て凡て此合後

法三坪教小止下け拾東方九百七百坪  
と參列「東方と一倍又東方と加」(東方と  
九百七百八拾或ちと參又東方と二倍又  
東方と加)東方と下け六百拾或ちと參  
二口合武五三百九拾四步と參是小てを  
あけくら坪と刻取之と知也  
右方差法ニ止と申すと人撰取法と申すれ  
ざり方差法ノ人撰取法と號今名方差  
或ウニ切撰取小止と參是小止と云如左記



成ル圖也

今方をあく東方をえす  
辛方或七八寸堅五尺なり  
是小相連して併き傍を  
造り合て教ど合



據於法とて併ど合  
合併を方四百五十併  
合併を方九千九百四十併  
合併五千百併

始代切分て傍く小併ど合る法と一口小  
方を立て併ど合る法と曰ふり  
とくと付れ後つらか二とく  
今方を立て併教を方九千九百五十併

東方一尺五寸分一九。四  
晉云辛方三尺四寸。七八四  
堅尺六寸二分九尺  
例曰吸之立人再自固之  
得二万五千併一倍之  
二千五万併と用之法と漆と  
堅六尺二寸九分九寸六  
小古の東方と案古と案古  
とくと餘相連して東方と  
又新吸之小古と東方と案古  
吸之とて餘相連して東方と  
組赤方とう先へあると東方  
と再自固して倍之ね対  
用之法と論

吸之五尺之東方又辛方一尺五寸度  
晋云東方を尺二寸辛方或尺七寸  
法と遠くを人立寸と無合是小堅之五  
尺二寸けニ立別之乎七日五拾併と案古と  
起併と内引く號て東方六分或百併と  
是と堅五寸並て割す乎三百六十四  
と案古と案古と並別之を遠くを人立  
すと堅紙小紙と案古法と漆と東方と  
尺と並之是と人立ス加一東方と並也  
すと堅紙小紙と案古法と漆と東方と  
五尺と腹辛方腹隅也斜と合

又卒方より先へ入るより卒  
方と再自因して倍く開て  
法を除く

今す坪二万五千五百坪と方  
丈小傍くより末方を卒  
方へき倍卒方より除く一  
倍かく若尺教を旨

卒方を五す

卒方を三尺

堅尺六尺

例曰三万五千五百坪と二因

して九万四千五百坪の半を  
別小えれをとどあ方と定  
又二尺と卒方とよこら入四  
尺と堅尺とよこら一尺自因百

平丈五尺。五分五十九毛

三毛偶堂五尺をすま分て二毛

斜尺五尺七すま分

法を卒方を末方と

減て走く人すより卒成

云々別七す八分を筆

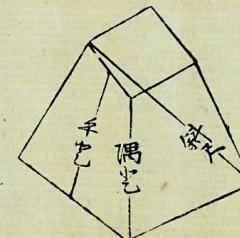
と無合すちへ捨たむニ

分かうと餘列ニ又取て人無合すす平

八百丈、分二尺合或千八百人捨たむ三分

又卒也共ひとと卒法を除く平堂と名也

又云右も七す五分を卒人捨六丈二分をと



卒方入自因四百丈又三尺  
と既尺と相因式百丈三尺  
七百丈是小堅三四尺案得式  
万八千坪一尺とお法を定  
と除減三十三百七十人坪

と開き法を除く卒方一尺

五す

を倍小して堅尺五尺入お教或丈百丈  
小加一尺和六百捨式百丈五分と餘是と  
并年法を除く偶堂と如

又云卒方と卒方と合二尺ノ別七す八尺

す五尺と餘是と無合すす三百八捨等

○或ひ六角と餘是ととて倍小して七百

六捨あ〇五尺と餘列ニ又堅五尺無合す

丈五丈と餘是ととて平法を除く斜尺と如

今方を乗く堅尺と末方をとて坪教を定  
せしと卒方と求ら或は堅尺と卒方を

今す坪二万式十三百四坪  
當是と原法を定小して堅  
尺の卒法へ計二尺より  
卒法より末法へ内二尺  
末法より卒法へ四尺より  
卒法より末法へ五分之に當

小一弓各ノ種を合

辛板四尺

宋板二尺八寸

高ニ半厚ニ尺五寸

宋板高厚寸六分

堅立人

御三尺先高二尺零

脚底と造り三尺九寸

先高方四尺三寸四十许

底面高さと同上

列小堅と同上

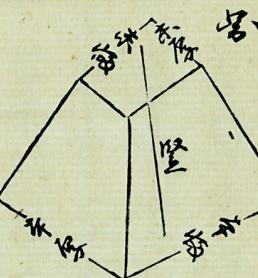
是と一五と合て高さ

辛板八寸半又は小十尺

因事高さす三分と之又成

三國而兩ソ辛板厚す三分

堅板臺



今堅板臺也

辛板厚三寸半

堅立人式

四尺八寸方五十九百八拾四坪

法云宋板一倍少く三寸半少一寸

又是と四國並の如て來高堂  
す三分六寸足假小堅板  
高ニ洋二百五十八坪七寸を求  
内法之丈又て餘得十二方半  
坪一并再高堂之用立柱餘得  
堅立人一級之得多入板也

今度堅の往六寸取基底入  
立す又是とれ邊小切て切口  
八径と疏ども

徑二尺五寸分二四七六

廻立人寸四分七八

御三尺口乃往六寸と約ども  
堅と股よし約股強力求

す坪式方五十九百八拾四坪也是と四國並  
高ニ未厚三寸半辛板厚三寸半堅立柱

辛板二加一六尺八寸板色小宋厚三寸  
或すとナ七百六拾八寸又堅板と  
木偏ニテ六尺八寸半板色小宋板也  
八分之板色小宋厚三寸半すと高九百  
式拾赤二丈一寸合式半百八十八  
寸也是と堅立人八寸と通拾五万零九  
百〇四坪と板色と高法人六割式方  
五十九百八拾四坪の堅板臺之堅板

也是と堅立人八寸と通拾五万零九  
百〇四坪と板色と高法人六割式方  
五十九百八拾四坪の堅板臺之堅板

也

曾開建抄三

弦術にてく往二人立す七  
分をうつもに七をもむく入  
疏とかく先往六す小古回  
法三き六ニ立す來をへば  
九分をう二をも詰先と約と  
元取之成へ立すと取とく得  
弦式六すちるニテ九が傳  
之又三立す又分をう八毛へ切口  
内與之也

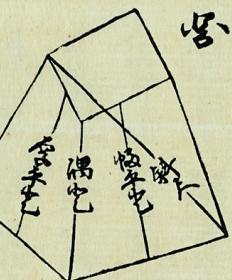
又別は去切口へ往二立す七  
分一リ一毛にセタと大太の弦と  
見又口へ往本ニすと考久矣  
とく疏文弦く物一毛を立  
續者是ニすと自因も古はつぶ  
と來メ立す亦と別は香久

法三立坪教小六三け板右の裏  
をうつもに七をもむく入  
ににて或ホ六百八拾ハキと求是乞らを  
たうける詳と別

右をかみく塗總毛百筋也  
今厚牆處の末厚幸ニす半厚ニス  
堅六尺ハすと厚年登と牆年登と偶

先と斜尺と何經丸をも

厚年也又人すとゆう九七  
毛也 暷年也 八尺ハすとゆう九毛  
脚也 偶也 又人ハすハからう人毛  
斜尺 人尺人すニ



弦もくくら成人立す大本  
四十七代自因一と六百八拾を  
あく候合年合七百拾五毛と  
用年は小降と得成人立す七  
分ニテ九毛一毛と一方ノ疏と  
約ク緒之五人立す又分をう  
ハわ遠く思と也

今候准も腰と本とく手直  
或拾九枚七十・七二押さうじ  
と版とれとて立人立すと分  
ハう立い盾教篤く小分を立  
往份立盾内長分を立

法三立年教小六三け板右の裏  
をうつもに七をもむく入  
列ニ又堅五尺と無合す又ニ千二百六  
拾四丈と底ニロの赤板合ニ千四百或拾  
八亦とける是と用年法小降と厚年  
也と也

又云年重より未厚門拂く立人立す  
ナリ是とテテ小もう六すと、是と  
合す又ニ落ハあくける列ニ又堅ニ

口往六す

手立

曾開庭少三

術三十九役七分二七ニビ  
筋ノ事教九歩小素ト  
武百六拾七步ニ一スロハヤ  
加一毛ニ古法は七九。立除  
得五百ニ拾八步一六毛ニ小  
差法四ニ四毛ニ得三千二百  
五拾或ナヘフ列小和三人  
をすき分八步を倍トセ  
尺式すニ各ナラヒ自案傳  
三千八百六拾八步七六九六  
内より毛ニ千三百六拾武  
六毛ニ減一由余武小五百  
三拾六步ニ九毛ナリ毛  
と用半は小除ニ得五人。  
之分出セラまよて底おの定

五人八步ニ越合す歩ニ一千三百六十  
歩ニ合す合步教ニ一千百歩ナリ  
毛ニ合す年法ニ除ニ幅年參トセ  
又ニ年參トテ毛ニ合す合毛ニ  
すとテラ小マラナスと承毛ニ合ニ十  
六歩ニ合列半幅トテ毛ニ合  
キテナスとテラニコラハスと承毛ニ  
越合ニ拾四步ニ合列ニ又限ニ人八  
步ニ越合ニ毛ニ百六拾四步ニ合リニ  
合ニ千四百六拾四步ニ合リニ  
法ニ降き偶堂トセ也

ニす名ナラニ内ト減半余  
きく減すと折半ノ六す  
知淮ニロ往也  
今淮淮のロト股の赤教  
和ノ二百六十七步ニ五ヤハ  
リロ往ニ股の免毛ニ  
九寸一分八毛ニ合ス教毛  
毛ニロ往六步  
毛ニ股堅ニ八步ニ八  
術三二百六拾七步  
三一五にハビ古法  
十九。立除得三百九  
八步ニ一六毛ニ定三  
内ノ得三百拾二步七ニ古  
列ニ元倍三天八すニ六  
法ニ合毛ニ合スと合年ニ除ニ解ト

又ニ末厚毛ニ半厚毛ニ合ニテラニ  
八步ニ合毛ニ合年毛ニ合ニテラニ  
ト承列ニ又末厚半厚毛ニ合ニテラニ  
ニ人四すと承毛ニ合スけ合す毛ニ日七  
拾六步ニ承列ニ又限ニ合ス毛ニ  
百六拾四步ニ承毛ニ合步教四千八百  
六拾四步ニ承毛ニ合年ニ除ニ解ト  
す片七百拾一坪少より

定六法一トニ人式す方分八  
六六六六六と九章經度  
定平法二除口往六す

口往也

今度淮八口股

奇校和之二百六十七赤三

五口八口一堅尺武人五す也

口往口合

口往口往六す

術之二百六十七赤三

二五口八口一堅古法

七九。九除得三百九

八步一六口一自素ノ

得三十萬口千三百五十武

得三分八口五六是三乘也

坪九百坪赤是小者法七九。八疊而四  
六六六六六と九章經度  
定平法二除口往六す

今度淮也

往六す堅或合す

寸坪二百六十七坪分八

法之方淮の術之坪之大者法七九。八

疊而四

今度淮也

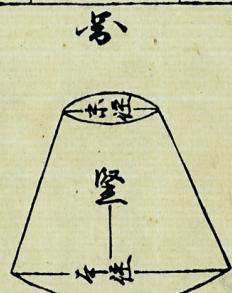
未往壹人式す

辛往或尺七す

堅八人

寸坪之方平七百七十坪。

八分九毫



八卦目付字之始

定	黄	日	星	胃	牛	角	乾	
執	赤	月	張	昴	女	亢	兌	
破	白	木	翼	畢	虛	氐	離	
危	黑	火	軫	觜	房	房	震	
成	建	土	春	參	心	心	巽	
收	除	金	夏	井	室	尾	坎	
閑	滿	水	秋	鬼	壁	箕	艮	
閉	平	青	冬	柳	奎	斗	坤	

術之武百六拾七赤三

口往六す

口往六す

口往六す

六上

五經易考二

五七八と右寄法七九。五三

自奉之二十万四千

三百五十武坪一十八人是  
之率也是此定分派之一

二万八千五百八十八坪  
三月三日三百九十八步

一六二九百六十九年

○八也又か二月一月九日  
自來して得三百六十一事

是とて百六十九步。八

乃ニ秀吉紙ヲ又充信

二月、すとだに元細等  
家とニ葉籠法三塗り

卷之三

卷之三

八卦目付字之終

斗	壁	昴	星	日	除	閑	離	
奎	柳	軫	月	黃	執	坤	角	
畢	張	木	白	破	兌	心	女	
翼	火	黑	危	乾	尤	婁	觜	
金	赤	成	坎	氐	虛	井	春	
建	開	艮	尾	危	參	夏	水	
收	震	房	牛	鬼	秋	土	平	
翼	箕	室	胃	冬	青	滿	定	

